



河辺林通信

建部北町の森から

2015年7月号 No.207

ネムノキ ピンクの繊細な花が風で揺れます

建部里まつりが森で行われました

6月21日に「第一回 建部里まつり」が行われました。この日はあいにくの雨模様でしたが、約180人の方が参加してくださいました。

この「建部里まつり」は、建部地区まちづくり協議会が、先人の知恵や地元の良さを今後のまちづくりに活かそうと、また、地元にある河辺いきものの森のことをもっと知ってもらおうと、市制10周年記念協賛事業として、今年初めて開催されました。

森の紹介＆散策や、昔の暮らしを写した約55点の写真の展示、かまどの焼き込みご飯や豚汁などがふるまわれるなか、遊林会もクイズラリーや森たんけん、竹の薄切り競争などの対応をしました。

昔の建部地区の写真（55枚展示）の前で、顔をほころばせながら話をしているみなさんがとても印象的でした。昔は八千代橋が木造だったこと、台風で流れしたことや、建部小学校があったことなど初めて知ることばかりでした。

また、今回は親子での参加が多く、保護者も子どもさんと一緒にクイズや工作など楽しんでもらえました。



モリイコ！のこどもたち

モリイコ！各隊の2回目の活動がこの6月に行われました。梅雨の季節ということで雨が降る活動日もあったのですが、モリイコの隊員達はそんなお構いなしに、楽しそうに森中を駆け回っていました。

モリイコ！Sの隊員は、葉っぱ遊びに虫つかみにいきものの研究に、たき火にといろんなことをしました。特にいきものの研究では個性溢れる着眼点で、いきもの特徴を書き出していました。たき火はおさらいを兼ねてみんなでつけて炭火を熾して、ハチクの筍を焼いて食べました。



←自分がつかまえた虫を研究して、その特徴を表した名前をつけます。

図鑑で名前を調べるのではなく、観察することをメインに置いています。



←日傘？雨傘？
どっちでも
いけちゃうね！

1年目のモリイコ！隊員達は、森をゆっくりのんびり散策し、たくさんの発見で盛り上りました。いろんな色のキノコや、とっても小さなカマキリの赤ちゃんを見つけたり、草花で遊んだりと、たっぷりと自然のなかで楽しみました。

昼からはミッションとして、いきものつかみです。道具を使ったり、手つかみができる子は素手でたくさんつかみました。最後は大きな一つの水槽にいきものを全部入れて観察！お迎えの保護者の方に見せる子どもの表情がいきいきしていました。

●6月の作業だより

第2土曜日（6月13日）20人

- ①細竹ゲリラ のびのびと伸びている細竹を切り口が斜めにならないよう、丁寧に切って回りました。
- ②水辺の外来種退治 外来種のカナダモを刈りました。午前は下流のエリアで、午後は上流のバイカモの咲く周辺を丁寧にやりました。
- ③機械刈り ケヤキの林で、植栽した細い木に気をつけながら下草を刈りました。
- ④お昼ご飯作り 肉じゃがに南蛮漬け、トマ玉炒めに冷や奴にトマトとキュウリのサラダに…と、暑い日に打ち勝つおいしいごはんをもりもりいただきました。

木ままクラブ（6月18日）10人

雨だったので中仕事です。炭焼き小屋の柱の修理と、週末の建部里まつりでクイズラリーの参加者に渡す景品作りをしました。森の木の枝を使った色鉛筆を作りました。

第4水曜日（6月24日）14人

暑い日でしたが体力と神経のいる作業でした。午前は枯れたコナラの伐採。夏休みのクイズラリーで通る道なので、それまでにということです。午後はこちらも散策路上に枯れ枝をたくさんつけていたクヌギを伐採しました。これらの材は来月の作業で薪にする予定です。

7月の活動日

保全活動開始から
18年目に突入です！！

7/11 (土)	竹林整備 ササ刈り 水辺の外来種退治
7/16 (木)	木ままクラブ 薪割り
7/22 (水)	下草刈り セイタカ・クズ退治

朝9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

6月観察会・7月見どころ

6月の観察会は、「昆虫に心臓ってあるの？」 「息はどこでしているの？」など、知っているようでも知らない昆虫の不思議の紹介でした。まずは、みなさん子供に戻って虫つかみ…が、天候不順で、朝にはアゲハやトンボなど大物が見られず。でも、そこはベテランの皆さん、虫が少ないなりにも、様々な生きものを捕まえてくれました。

7月の森は夏本番！暑いです！その暑さに負けじと咲くのがヤブカンゾウとオニユリです。ヤブカンゾウは森の中の散策路沿いで、オニユリはくさはら広場など明るい場所で見られます。オニユリの花は大きくて見応えもあり、大きなアゲハチョウが蜜を吸いに来るのも見られますよ！



ヤブカンゾウ



オニユリ

NPO遊林会の総会

この6月13日（土）に遊林会が法人化してから初となる総会がありました。すべての議題について、無事審議を終えることができました。参加された方、委任して下さった方、ありがとうございました。

そもそも総会は、正会員が集まって、昨年度の事業の報告や決算、今年度の計画や予算などを審議する場です。つまり、総会は遊林会は何をしているの？いくらを、何に使ってるの？ということを話し合う場なのです。また、正会員さんが様々な意見を出し合い、その意見を活動に反映していくことのできる大事な決定の場でもあります。

今回、この河辺いきものの森の保全はボランティアでしているんだけれど、これを行政でしたら、いくらかかるの？というご意見がありました。

面積は15ha、月3～4回、植物の種類にあわせ作業の内容が変わる。さて、いくらになるのでしょうかね？事務局もそれは知りたい所です。

また、NPO法人になって、ボランティアの労力を金額評価できるようになりました。本来的に金銭換算すべきではない所だとは思うのですが、資料として活用できる機会がありそうです。こちらは、まずは理事会で相談したいと思います。

編集後記

6月には、2回東近江市内に出張に行き、地域の子ども達といきものつかみを行いました。自分のすむ地域に、くさはらや川などいきものをつかめる環境があり、実際にいきものがつかめるというのはうらやましい！7月と8月にも地域への出張を行います。子ども達がいきものつかみを通して、より地域のことを好きになってくれればいいな～と思います。

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp